

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。  
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2019年9月13日、株式会社エイチームは2019年7月期通期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	FY07/17				FY07/18				FY07/19				FY07/19	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	進捗率)	通期会予
売上高	7,136	8,147	9,907	9,413	8,904	9,165	10,270	9,336	8,927	9,597	9,504	9,123		
前年比	54.8%	50.3%	60.3%	39.3%	24.8%	12.5%	3.7%	-0.8%	0.3%	4.7%	-7.5%	-2.3%		
売上総利益	6,031	6,926	8,235	7,741	7,428	7,515	8,311	7,460	7,162	7,719	7,545	7,206		
前年比	56.8%	50.7%	58.6%	35.4%	23.2%	8.5%	0.9%	-3.6%	-3.6%	2.7%	-9.2%	-3.4%		
売上総利益率	84.5%	85.0%	83.1%	82.2%	83.4%	82.0%	80.9%	79.9%	80.2%	80.4%	79.4%	79.0%		
販管費	5,738	6,196	6,487	6,435	6,464	6,422	6,558	6,568	6,677	7,027	6,547	6,569		
前年比	72.5%	39.2%	47.7%	29.5%	12.7%	3.6%	1.1%	2.1%	3.3%	9.4%	-0.2%	0.0%		
売上高販管費比率	80.4%	76.1%	65.5%	68.4%	72.6%	70.1%	63.9%	70.4%	74.8%	73.2%	68.9%	72.0%		
営業利益	293	729	1,748	1,307	964	1,093	1,752	892	484	693	998	636		
前年比	-43.7%	404.4%	118.9%	74.6%	228.4%	49.9%	0.2%	-31.7%	-49.8%	-36.6%	-43.1%	-28.7%		
営業利益率	4.1%	9.0%	17.6%	13.9%	10.8%	11.9%	17.1%	9.6%	5.4%	7.2%	10.5%	7.0%		
経常利益	292	779	1,738	1,309	981	1,096	1,776	878	507	661	1,009	632		
前年比	-40.8%	591.7%	131.2%	77.7%	235.3%	40.8%	2.1%	-32.9%	-48.3%	-39.7%	-43.2%	-28.0%		
経常利益率	4.1%	9.6%	17.5%	13.9%	11.0%	12.0%	17.3%	9.4%	5.7%	6.9%	10.6%	6.9%		
当期利益	138	538	1,162	741	678	755	1,218	655	257	484	359	373		
前年比	-52.6%	3043.6%	142.2%	47.0%	390.9%	40.3%	4.8%	-11.6%	-62.1%	-35.9%	-70.5%	-43.1%		
当期利益率	1.9%	6.6%	11.7%	7.9%	7.6%	8.2%	11.9%	7.0%	2.9%	5.0%	3.8%	4.1%		
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
売上高	7,136	15,283	25,190	34,603	8,904	18,069	28,339	37,674	8,927	18,524	28,028	37,151	100.4%	37,000
前年比	54.8%	52.4%	55.4%	50.7%	24.8%	18.2%	12.5%	8.9%	0.3%	2.5%	-1.1%	-1.4%		-1.8%
売上総利益	6,031	12,957	21,192	28,933	7,428	14,943	23,254	30,714	7,162	14,881	22,426	29,632		
前年比	56.8%	53.7%	53.7%	253.7%	23.2%	53.7%	153.7%	253.7%	-3.6%	-0.4%	-3.6%	-3.5%		
売上総利益率	84.5%	84.8%	84.1%	83.6%	83.4%	82.7%	82.1%	81.5%	80.2%	80.3%	80.0%	79.8%		
販管費	5,738	11,934	18,421	24,856	6,464	12,886	19,444	26,012	6,677	13,704	20,251	26,820		
前年比	72.5%	53.4%	51.4%	45.0%	12.7%	8.0%	5.6%	4.7%	3.3%	6.3%	4.1%	3.1%		
売上高販管費比率	80.4%	78.1%	73.1%	71.8%	72.6%	71.3%	68.6%	69.0%	74.8%	74.0%	72.3%	72.2%		
営業利益	293	1,023	2,771	4,078	964	2,057	3,809	4,701	484	1,177	2,175	2,811	98.6%	2,850
前年比	-43.7%	53.7%	89.2%	84.3%	228.4%	101.1%	37.5%	15.3%	-49.8%	-42.8%	-42.9%	-40.2%		-39.4%
営業利益率	4.1%	6.7%	11.0%	11.8%	10.8%	11.4%	13.4%	12.5%	5.4%	6.4%	7.8%	7.6%		7.7%
経常利益	292	1,071	2,810	4,118	981	2,077	3,853	4,730	507	1,168	2,177	2,809	98.6%	2,850
前年比	-40.8%	76.7%	106.9%	96.6%	235.3%	93.9%	37.1%	14.9%	-48.3%	-43.8%	-43.5%	-40.6%		-39.7%
経常利益率	4.1%	7.0%	11.2%	11.9%	11.0%	11.5%	13.6%	12.6%	5.7%	6.3%	7.8%	7.6%		7.7%
当期利益	138	676	1,838	2,580	678	1,433	2,651	3,306	257	741	1,100	1,473	98.2%	1,500
前年比	-52.6%	119.1%	133.2%	99.6%	390.9%	112.0%	44.2%	28.2%	-62.1%	-48.3%	-58.5%	-55.4%		-54.6%
当期利益率	1.9%	4.4%	7.3%	7.5%	7.6%	7.9%	9.4%	8.8%	2.9%	4.0%	3.9%	4.0%		4.1%

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

同社は迅速かつ確かな意思決定を行う体制の構築と業務の効率化を図るため、2016年8月1日付けでEC事業本部を新設する組織変更を実施した。これに伴い、2017年7月期より「ライフスタイルサポート事業」から「EC事業」を分離し、単独セグメントとしている。また、ライフスタイルサポート事業に属する結婚式の情報・予約サイト「すぐ婚navi」は2016年11月8日にサイトリニューアルを実施し、サービス名称をハナユメに変更している。

このため、本レポートでは、今期実績および業績予想に係る部分については、「エンターテインメント事業」「ライフスタイルサポート事業」「EC事業」の3つからなる新区分で、それ以外の部分は、「エンターテインメント事業」「ライフスタイルサポート事業」の2つからなる旧区分でコメントを記載している。

セグメント別四半期業績 (百万円)	2017年7月期				2018年7月期				2019年7月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	7,136	8,147	9,906	9,412	8,904	9,165	10,270	9,336	8,927	9,597	9,504	9,123
ライフスタイルサポート事業	2,653	2,953	3,990	3,746	3,954	4,313	5,581	5,108	5,173	5,191	6,013	6,148
エンターテインメント事業	4,089	4,886	5,200	5,082	4,316	4,320	3,877	3,657	3,243	4,006	2,865	2,463
EC事業	394	308	715	584	635	532	812	571	510	401	624	513
営業利益	293	729	1,748	1,306	964	1,093	1,752	892	484	693	998	636
ライフスタイルサポート事業	370	327	715	516	551	686	1,077	762	642	643	1,066	786
エンターテインメント事業	302	807	1,440	1,270	865	885	1,199	639	274	611	372	275
EC事業	-35	-46	-65	-32	-44	-68	-78	-21	-63	-68	-35	-44

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

\*\*ライフスタイルサポートの引越し関連事業で展開している引越し周辺サービス「エアコン取付け・取外し工事」などの外部委託費用については、2017年7月期までは「支払手数料」として計上していた。取引に対する同社および委託先の役割の変化を鑑み、外注委託に該当すると判断したため、2018年7月期より「外注費」として計上している。2018年7月期第1四半期における計上変更対象額は185百万円

## 2019年7月期通期実績（2019年9月13日発表）

- ▷ 2019年7月期実績：売上高37,151百万円（前期比1.4%減）、営業利益2,811百万円（同40.2%減）、経常利益2,809百万円（同40.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,473百万円（同55.4%減）
- ▷ 前期比1.4%減収：エンターテインメント事業とEC事業が減収となるも、ライフスタイルサポート事業が好調に推移
- ▷ 同40.2%営業減益：ライフスタイルサポート事業における新規事業への先行投資に加え、エンターテインメント事業における既存タイトルの利益寄与減少により減益
- ▷ 達成率：2019年7月期通期業績会社予想に対する達成率は、売上高100.4%、営業利益98.6%、経常利益98.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益は98.2%。売上高は実績が計画とほぼインラインであったが、各利益は実績が計画に対して若干下回って着地した。

### セグメント別業績動向

セグメント別の業績動向は以下の通りである。

#### ライフスタイルサポート事業

- ▷ 売上高は22,525百万円（前期比18.8%増）、セグメント利益は3,137百万円（同2.0%増）となった。
- ▷ 同セグメントの事業では、引越し関連、自動車関連、プライダル関連、金融メディア等様々な事業領域において、個人の利用者に向けてサービスを展開する事業者と提携し、「三方よし」のサービス理念のもと、人生のイベントや日常生活に密着した比較サイト・情報サイト等様々なウェブサービスを展開している。個人の利用者は基本無料で利用でき、パートナー企業に見込客を紹介することに対する紹介手数料及び成約報酬が主な収益である。サブセグメントとして、引越し関連事業、自動車関連事業、プライダル関連事業、金融メディア事業、その他がある。
- ▷ 2019年7月期においては、各サブセグメントにおいて売上高は堅調に推移したが、既存事業の育成と周辺サービスの拡充に加え、新しい事業領域において複数の新規サービスへの先行投資を実施したことなどから、増益率が増収率を下回っている。

注：2017年12月に子会社化したIncrements社については、2018年7月期第3四半期よりライフスタイルサポート事業に区分している。サブセグメントにおける「その他」には、Increments社が運用するプログラマ向けの技術情報共有サービス「Qiita（キータ）」、手軽に書けるチーム内情報共有ツール「Qiita:Team（キータチーム）」、女性向け生理日予想・体調管理アプリ「ラルーン」、その他新規サービスが含まれる

#### エンターテインメント事業

- ▷ 売上高は12,577百万円（前期比22.2%減）、セグメント利益は1,532百万円（同57.3%減）となった。
- ▷ 同セグメントでは、自社で開発したオリジナルスマートデバイス向けゲームアプリを、Apple Inc.が運営するApp StoreおよびGoogle Inc.が運営するGoogle Play等を配信する専用のプラットフォームを通じて提供している。ゲームアプリ自体は基本無料で提供し、ユーザーがゲームをより効率よく進めるためのアイテムを購入することで、そのアプリ内アイテム購入代金が主な収益となる。
- ▷ 2019年7月期においては、引き続き既存ゲームアプリの効率的な運用を進めながら、2018年10月に新規ゲームアプリ「少女☆歌劇 レヴュースタァライト -Re LIVE-」をリリースした。既存の主力ゲームアプリ「ヴァルキリーコネクト」や「ユニゾンリーグ」などが減衰し、「少女☆歌劇レヴュースタァライト - Re LIVE-」で既存ゲームアプリ全体の売上減少分をカバーするには至らず、前期比減収減益となった。

## EC事業

- ▷ 売上高は2,048百万円（前期比19.7%減）、セグメント損失は210百万円（前期は211百万円の損失）となった。
- ▷ 同事業では、東海、関東、関西3カ所に物流倉庫を構え、国内外から仕入れた200種類以上の完成品自転車を自社で在庫を持ち、専属のプロ整備士により整備された完全組立自転車をオンラインで販売し、自宅まで配送する国内唯一の自転車専門通販サイトを展開している。
- ▷ 主な収益は自転車の販売代金である。
- ▷ 自転車通販サイト「cyma-サイマ-」は、引き続きフルフィルメント\*強化しながら、運営の最適化に向けた体制整備を優先した結果、前期比で減収となったが、事業の課題の明確化及び今後のアプローチ方法を具体化できた一年であった。

\*ネット通販における受注管理、在庫管理、ピッキング、商品仕分け・梱包、発送、代金請求・決済処理等、通販ビジネスで最も重要なコアプロセス全般を指す。また、苦情処理・問い合わせ対応、返品・交換対応等のカスタマーサポートや顧客データ管理等の周辺業務も含まれる。

## 2020年7月期の会社計画

連結業績 (百万円)	FY07/18			FY07/19			FY07/20
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	通期会予
<b>売上高</b>	<b>18,069</b>	<b>19,605</b>	<b>37,674</b>	<b>18,524</b>	<b>18,627</b>	<b>37,151</b>	<b>35,000</b>
前年比	18.2%	1.5%	8.9%	2.5%	-5.0%	-1.4%	-5.8%
売上原価	3,126	3,835	6,961	3,643	3,875	7,518	
<b>売上総利益</b>	<b>14,943</b>	<b>15,770</b>	<b>30,714</b>	<b>14,881</b>	<b>14,751</b>	<b>29,632</b>	
前年比	15.3%	-1.3%	6.2%	-0.4%	-6.5%	-3.5%	
売上総利益率	82.7%	80.4%	81.5%	80.3%	79.2%	79.8%	
販売費及び一般管理費	12,886	13,126	26,012	13,704	<b>13,116</b>	<b>26,820</b>	
売上高販売管理費率	71.3%	67.0%	69.0%	74.0%	70.4%	72.2%	
<b>営業利益</b>	<b>2,057</b>	<b>2,645</b>	<b>4,701</b>	<b>1,177</b>	<b>1,634</b>	<b>2,811</b>	<b>1,000</b>
前年比	101.1%	-13.4%	15.3%	-42.8%	-38.2%	-40.2%	-64.4%
営業利益率	11.4%	13.5%	12.5%	6.4%	8.8%	7.6%	2.9%
<b>経常利益</b>	<b>2,079</b>	<b>2,651</b>	<b>4,730</b>	<b>1,168</b>	<b>1,641</b>	<b>2,809</b>	<b>1,000</b>
前年比	94.1%	-13.0%	14.9%	-43.8%	-38.1%	-40.6%	-64.4%
経常利益率	11.5%	13.5%	12.6%	6.3%	8.8%	7.6%	2.9%
<b>当期純利益</b>	<b>1,433</b>	<b>1,873</b>	<b>3,306</b>	<b>741</b>	<b>732</b>	<b>1,473</b>	<b>500</b>
前年比	112.0%	-1.6%	28.2%	-48.3%	-60.9%	-55.4%	-66.1%

出所：会社データよりSR社作成

\*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。事業別の営業利益構成比は調整前利益を100%として計算

\*\*会社予想は直近の値

## 概要

2020年7月期通期業績同社予想は、売上高は35,000百万円（前期比5.8%減）、営業利益は1,000百万円（同64.4%減）、経常利益1,000百万円（同64.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円（同66.1%減）。

新たなサービス育成のための投資や人材・組織体制の強化など、次期以降の再成長に向けて、事業全体を拡大する準備の1年と考え、各セグメント事業の強化・拡大を図るとともに、新たな事業の育成に向けた投資を進めながら事業ポートフォリオの強化を図る。人材採用は抑えつつも、引き続き人材育成及び環境整備・組織体制の強化に注力する。

## セグメント別業績動向

### ライフスタイルサポート事業

- ▷ 各サブセグメントにおいて、利用者数の増加、利用者1人当たり売上高・利益率の向上を図りながら、サービス間の相互送客・継続顧客の獲得に注力する。中長期的な成長を見据え、新規サービスの育成のために積極投資を実施する予定。
- ▷ 業績については、既存の各サービスの収益力・KPIの状況を踏まえ、季節要因や内外の環境要因等を現時点で想定可能な範囲で加味して予想している。
- ▷ 新規サービスについては、現時点で想定可能な範囲で費用を織り込み、売上高は保守的に予想。既存サービスも競争力強化に向けた投資を一部先行投資も含めて行っていくため、売上・利益ベースでは例年同様の成長を見込むものの、全体としては営業利益率の低下が予想される。

### エンターテインメント事業

- ▷ 主力タイトルの効率的な運用に取り組みながら、2020年7月期以降にリリースを予定している他社との協業による新規ゲームアプリの開発に注力する。
- ▷ 業績については、既存タイトルは現時点で想定できる費用を織り込んだ上で、直近のKPI推移を踏まえた売上高・利益を予想し、協業による新規ゲームアプリの開発費用を十分に織り込んだ予想としている。なお、協業による新規ゲームアプリのうち一つについては、これまで資産計上していた開発コストが、今回の協業スキームでは大部分を当該期間に費用計上する予定。

### EC事業

- ▷ フルフィルメント強化の継続などを実施し、中長期での持続的な利益創出に向け抜本的な構造改革に取り組む。
- ▷ 業績については、各KPIの状況に鑑み、季節要因等を加味しながら構造改革に向けての投資を踏また予想としている。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

### ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

### 金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

### 連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.  
東京都文京区千駄木3-31-12  
HP: <https://sharedresearch.jp>  
TEL : (03)5834-8787  
Email: [info@sharedresearch.jp](mailto:info@sharedresearch.jp)